

令和2年度シラバス (教科・科目：公民・現代社会)

68 新潟県立高田南城高等学校

定時制課程	単位数	必履修・選択
午前部	2	必履修

教科書	学習書・他教材
『最新 現代社会 新訂版 (実教出版)』	なし

学 習 目 標
人間の尊重と科学的な探求の精神に基づき、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深め、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに、自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

学 習 計 画		
学習項目	学 習 内 容	試験範囲 (学習期間)
第1部 私たちの生きる社会 (10)	第1章 地球環境問題 第2章 資源・エネルギー問題 第3章 生命科学と情報技術の課題	前期中間考査
第2部の1 青年期と自己の形成 (10)	第1章 自分らしく生きる 第2章 人間としてよく生きる 第3章 日本人としての自覚	
第2部の2 現代の民主政治と日本国憲法 (15)	第1章 現代国家と民主政治 第2章 日本国憲法の基本的性格 第3章 日本の政治機構と政治参加	前期期末考査
第2部の3 現代の経済社会と国民生活 (15)	第1章 現代の経済社会 第2章 日本経済の特質と国民生活	後期中間考査
第2部の4 国際社会と人類の課題 (10)	第1章 国際政治の動向 第2章 国際経済の動向と国際協力	後期期末考査
第3部 共に生きる社会をめざして (10)	1 WTO体制と発展途上国 2 個人の自由と持続可能な社会	

配当合計時間 70 時間 (50 分授業)

評価規準と評価方法			
評価は、次の4観点から行う。			
① 関心・意欲・態度	② 思考・判断・表現	③ 資料活用 of 技能	④ 知識・理解
授業への意欲的な参加から公民としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	社会の変化や考え方を公正に判断して過程や結果を適切に表現している。	時事問題や授業の内容について、自分の言葉や文章を効果的に活用している。	定期考査や課題の提出などを通じて、授業内容を理解し知識を身につけている。
<ul style="list-style-type: none"> 定期考査および授業中の小テスト 授業時のプリントは回収し、評価の対象とする。 			

授 業 の 進 め 方、課 題 ・ 提 出 物 な ど
<ul style="list-style-type: none"> 教科書、ノート他に、プリントを配布し授業中に使う。 プリント学習は作業終了後に提出し、評価の対象とする。
担 当 者 か ら の メ ッ セ ー ジ
成績評価は定期考査と平常点を合わせて総合的に評価していきます。